

富士山

概況(平成16年3月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

高周波地震、低周波地震の回数はともに少ない状態で、火山性微動は観測されませんでした。

山梨県の調査によると、2003年9月に富士山北東山腹で発見された噴気の発生原因は、「地中に埋設された木材等が発酵、発熱し噴気が発生した」と判明しました

地震活動の状況

山頂に設置した地震計の記録によると、高周波地震の回数は少ない状態で、低周波地震、火山性微動は、観測されませんでした(表1)。2000年後半から2001年前半にかけてやや活発化した低周波地震活動は、その後は落ち着いた状態が続いています(図1~2)。

表1 地震日別回数表(富士山)

富士山(A点)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
低周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
低周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
高周波地震	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4	4
低周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

長期・月別 地震活動推移 (1995年6月以降の高周波地震・低周波地震の月別回数)

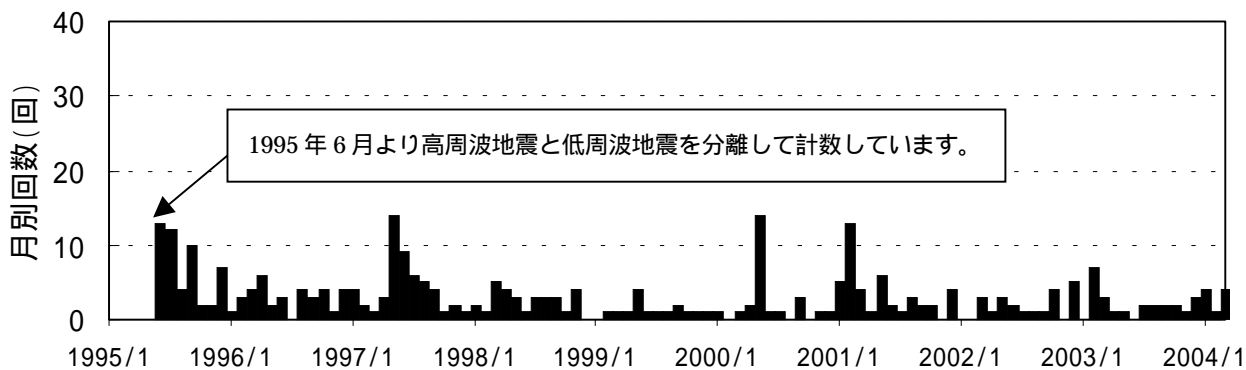


図1 富士山高周波地震月別回数(1995年6月~2004年3月)

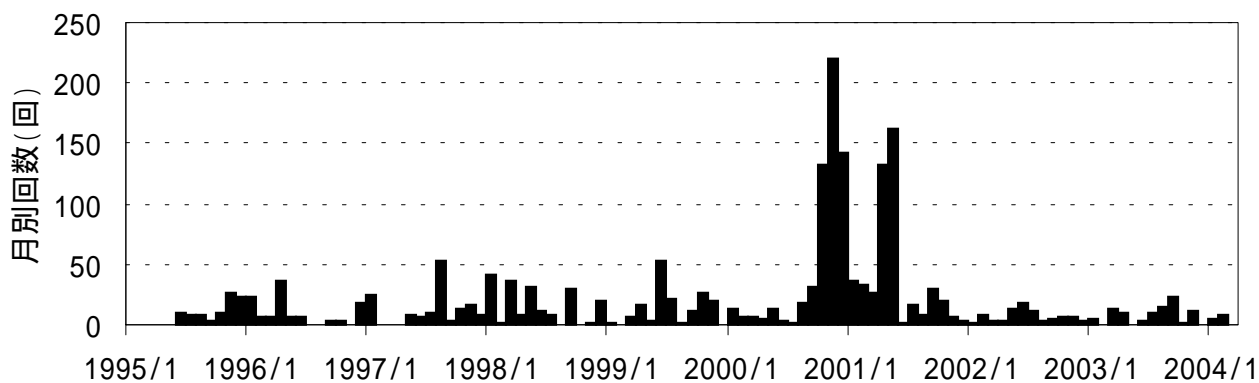


図2 富士山低周波地震月別回数(1995年6月~2004年3月)